

検査項目変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、測定機器の老朽化に伴い、最新機器への変更を実施します。それに伴い、検査項目の変更がございますので、下記の通りご案内いたします。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

● 検査内容変更（測定場所変更）

2022年 10月 1日（土）ご依頼分より
エスアールエル八王子ラボラトリー（&エ）からエスアールエル北関東検査センターの
内製検査に変更します。

項目コード	検査項目	容器	保存	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
06716	便中ヘモグロビン定性 1日目 定性	d8	冷蔵	1~2	37	金コロイド法	陰性
06725	便中ヘモグロビン定性 2日目 定性				*1		
06680	便中ヘモグロビン定量 1日目 定量				41		100未満
06699	便中ヘモグロビン定量 2日目 定量				*1		

● ご依頼方法

- ・2022年12月30日までは、【便中ヘモグロビン 金コロイド法】をご依頼させる際、依頼書の欄外項目記入欄にご記入いただく様、宜しく願いいたします。
- ・2022年10月1日ご依頼分以降は、院内セットに登録されている【便中ヘモグロビン ラテックス凝集法】は【便中ヘモグロビン 金コロイド法】に変換します。
- ・2023年1月4日ご依頼分以降は、依頼書のヒトヘモグロビン 1日目/2日目にチェックいただければ、【便中ヘモグロビン 金コロイド法】がご依頼いただけます。

● 便中ヘモグロビンの検査法変更に伴う容器変更

便中ヘモグロビン〔ラテックス凝集法〕の専用容器d5から便中ヘモグロビン〔金コロイド法〕の専用容器d8に変更となります。検査開始までにd8容器のご注文をいただきます様、宜しくお願いいたします。

現行 d5 (2 日法)



新規 d8 (2 日法)



● 便中ヘモグロビン (金コロイド法)

糞便中のヘモグロビンの測定 (悪性腫瘍の診断補助等) に有用な検査です。

検査要項 (現法との比較)

	新	現
検査項目名	便中ヘモグロビン 1日目/2日目 定性 便中ヘモグロビン 1日目/2日目 定量	便中ヘモグロビン定性 1日目/2日目
項目コード	表面参照願います	表面参照願います
容器	d8	d5
検査方法	金コロイド法	ラテックス凝集法
基準値	定性：陰性 / 定量：100未満	(-)
単位	定性：なし / 定量：ng/ml	なし
報告範囲	定性：なし / 定量：20未満 20~1199 1200以上	なし

● 受託中止項目

2022年12月30日（金）までは切替期間として受託いたします。

項目コード	検査項目	検査方法	備考
10504	便中ヘモグロビン定性 1日目	ラテックス凝集法	代替項目は便中ヘモグロビン（金コロイド法）をご依頼ください 06716 便中ヘモグロビン定性 1日目 定性 06725 便中ヘモグロビン定性 2日目 定性
10513	便中ヘモグロビン定性 2日目		
06707	便中ヘモグロビン定性	金コロイド法	06680 便中ヘモグロビン定性 1日目 定量 06699 便中ヘモグロビン定性 2日目 定量
06671	便中ヘモグロビン定量		

要注意：2023年1月4日以降に【便中ヘモグロビン ラテックス凝集法】のご依頼があった場合、代替検査項目が存在しない為、検査結果をお返しするまでに通常よりもお時間を要する場合がございます。切替期間内に金コロイド法への切替の程、何卒、宜しくお願いたします

● 判定一致率

判定一致率 (n=160)

一致率=96.9%

		既承認品	
		-	+
H b オ イ ト	-	78	3
	+	2	77

カットオフ値

既承認品：100ng/mL
Hbオート：100ng/mL

参考文献：製造販売元資料